

丸山 葉子

Yoko Maruyama Piano Recital

ピアノリサイタル

<Program>

ブラームス J.Brahms

シューマンの主題による変奏曲 嬰へ短調 作品9
Variationen über ein Thema von Schumann fis-Moll Op.9

ベートーヴェン L.v.Beethoven

ピアノソナタ第23番 へ短調 作品57「熱情」
Sonate für Klavier Nr.23 f-Moll Op.57 "Appassionata"

ショパン F.Chopin

舟歌 嬰へ長調 作品60
Barcarolle Fis-Dur Op.60

ワルツ第1番 変ホ長調 作品18
「華麗なる大円舞曲」

Valse No.1 Es-Dur Op.18 Grande valse brillante

ノクターン第13番 ハ短調 作品48-1
Nocturne No.13 c-Moll Op.48-1

バラード第4番 へ短調 作品52
Ballade No.4 f-Moll Op.52

※都合により曲目、曲順等変更になる
事がございます。予めご了承下さい。

2015

11.22 [日]

14:00開演 (13:30開場)

銀座・王子ホール

JR「有楽町駅」銀座口徒歩7分

地下鉄「銀座駅」A12出口徒歩1分 「銀座1丁目駅」9出口徒歩5分 「東銀座」A2出口徒歩2分

全席自由 一般 4,000円 学生 3,000円

※未就学児童の入場はご遠慮下さい。

[チケット取扱先]

プロ アルテ ムジケ : 03-3943-6677

王子ホールチケットセンター : 03-3567-9990

東京文化会館チケットサービス : 03-5685-0650 t-bunka.jp/ticket

ローソンチケット : 0570-084-003 (Lコード34073) l-tike.com

ヤマハ銀座店5F ピアノ売場 : 03-3572-3132

[後援] 公益社団法人 日本演奏連盟、一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

日本ショパン協会、日横文化協会、ポーランド広報文化センター



[マネジメント・お問合せ] プロ アルテ ムジケ PRO ARTE MUSICA E

Tel.03-3943-6677 Fax.03-3943-6659 www.proarte.co.jp

丸山 葉子

Yoko Maruyama, piano

6歳より武蔵野音楽大学附属江古田音楽教室に入室。

武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ科卒業。同大学卒業演奏会に出演。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。

在学中より数多くのコンクールに入賞を果たし、第8回長江杯国際音楽コンクール 第1位、第1回エリーゼのためにピアノコンクール 部門賞併せてカワイ賞、「日埴文化協会フレッシュコンサート2006」優秀賞、第1回横浜国際音楽コンクール ロシア音楽賞、第1回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan ディプロマ賞を受賞。

2011年、初のソロリサイタル(銀座・王子ホール)は、「公益社団法人日本演奏連盟/増山美知子奨励ニューアーティストシリーズ」に選出され、多数の音楽誌上で好評を博す。

その他、全国各地のホールにおいてソロリサイタルに出演。

東京丸の内ビルディングにおける丸ビル35コンサート2011年度定期ピアニストを務める。

ピアノを綱川恵、高坂朋聖、コンスタンティン・シロウニアン、吉川元子の諸氏に、ピアノ伴奏法を故ヤン・ホラク氏に師事。

第29回霧島国際音楽祭にてダン・タイ・ソン氏によるマスタークラスを修了。

ポーランドにて、エヴァ・ポプウォツカ氏の指導を受ける。

この他、アレクサンダー・セメツキー、プロニスワヴァ・カヴァラ、上田晴子、植田克己、川染雅嗣の各氏の指導を受け、更に研鑽を積む。現在、後進の指導にあたる傍ら、ソロやアンサンブル等、全国各地にて幅広く演奏活動を行っている。

丸山葉子公式ホームページ <http://yoko-maruyama.com/>

■ コンサート評 (銀座・王子ホール 2011年10月10日)

「…ショパンの作品表現に奏者の本質を聴いたように思う。含蓄に富む丸いひびきの創出と作品へのアプローチの正当性が十分に発揮された。元来、ショパンの作品の根底にはポーランド人がひとしく感じているという(訳出不可能といわれる言葉) “ジャル” (あえて言えば、喪失感を伴う憂愁の気分とでも言おうか…) の感覚が流れるという。当日のマズルカのごく自然で正統なリズム表現のうちに、この舞曲特有のすばらしい内的憧憬の世界が展開された。バラードとノクターンにおいても前述のアプローチによって、豊かなひびきのうちに作品の構図が明確に表現された。」

石川 哲郎

— ムジカノーヴァ 2012年1月号

～緻密に仕上げた素晴らしい演奏～

「…マズルカ第14番は抒情的な中の大きな表情が良い。第17番でも曲に適合したリズムと暖かみのある音が良い。バラード第3番は細部まで気配りのある演奏と共にスケールの大きさも見せた。ノクターン第7番は中間部の激しい感情の表出と共にショパンの歌を聴かせ、第8番の左手のアルペジオも効果的で、ショパンの甘美で美しい歌を華麗に表現したのは見事だ。スケルツォ第4番はきらきらと輝く音色が実に魅力的であり、パッセージも美しく情緒の感覚も良く、ショパンの中では最も聴きごたえがあった。各曲の特質をうまく捕えての演奏はとても見事だった。後半のスクリービン《幻想ソナタ》では、第1楽章は作品中に潜む情感の伝え方がうまく、音の色彩感にも大きな魅力があり、第2楽章は三連符の動きも良くリズム感と音楽の高揚感によって見事な演奏となった。終曲《コレルリの主題による変奏曲》は、各変奏の特徴と正確を強く表出し、変化の大きい構成力充分の変奏曲は聴きごたえがあり面白かった。通して各曲緻密に仕上がっており、見事なデビューリサイタルの成功を喜びたい。」

家永 勝

— 月刊ショパン 2011年12月号



© Yōshibobu Fukaya / aura, Y2



銀座・王子ホール

東京都中央区銀座4丁目7番5号
Tel.03-3564-0200

- JR 有楽町駅下車 …… 銀座口から徒歩7分
- 地下鉄銀座駅下車 …… A12 出口から徒歩1分
- 地下鉄銀座一丁目駅下車 …… 9 出口より徒歩5分
- 地下鉄東銀座駅下車 …… A2 出口から徒歩2分